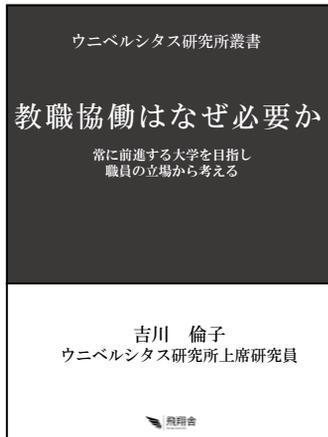


ユニベルシタス研究所叢書 第四弾！

教職協働はなぜ必要か

本体1,500円+税 / 四六判・並製 / 170頁

大学の大きな使命は「教育・研究を通して学生の成長を促し、社会で活躍できる人材を輩出すること」です。その使命の全うには、教員と職員が互いの立場を尊重し、ともに協力して大学運営にあたるのが重要です。本書では、長年私立大学の職員であった著者が、大学職員の立場から教職協働がなぜ重要かを考察しています。



教員との協働で大学改革を
成し遂げた著者が、
教職協働の重要性を説く

教職協働が必要な「わけ」を理論的に解説

教職協働は質保証。手段であって目的ではない。本書を読むと教職協働がなぜ必要か、その意義が理解できる。

教職協働による大学改革のヒントがある

「一人ひとりの学生の幸せのために」が基本。この「基本」を共有することが教職協働に繋がる。そして、本書に書かれている教職協働による大学改革の事例は必読である。

教職協働は多様性を活かすこと

大学は多様性の中でイノベーションを創出することが求められている。ダイバーシティ・マネジメントの上手く回っている組織では自然と教職協働も進む。

著者紹介 吉川 倫子
学校法人追手門学院理事

1978年～2023年 学校法人芝浦工業大学
2001年総務部人事課長を経て、2006年から学事部次長、部長として「教職協働による大学改革」を職員の立場から推進
2017年～2023年 評議員 2018年～2021年 理事
元大学行政管理学会常務理事
ユニベルシタス研究所 所長

ユニベルシタス研究所

2019年5月設立。日本の大学を取り巻く、経済・政治・社会・文化・技術等経営環境を調査検証しながら、研究成果を国内外に発信することを目的としている。大学の原点に戻り「教育の力」によって「新しい価値の創造と発信」を目指す。

ご注文FAX **03-5390-2213 (銚谷書店)** 返品条件付き：返品時は版元了解が必要です

銚谷書店を通じて、全ての取次番線での手配が可能です

書店印・番線印	ご注文数	ご注文日
ご担当者名 ()	冊	
教職協働はなぜ必要か 吉川 倫子 著 ISBN 978-4-910879-09-3 C1037 本体1,500円+税 / 四六判・並製 / 170頁 出版 飛翔舎 (取引コード：7150)		